

見極めろ! 幻の豚 テーマ 霧島 黒毛島豚の認知

ターゲット 霧島市の子連れの主婦

地元の主婦が家庭に広めて
黒毛島豚を身近な存在にする。

“きき豚”

- 黒毛島豚の存在を知ってもらう。
- 食べることで黒豚との違いを
理解し、実感してもらう。
- ゲーム性を取り入れることで
楽しさで記憶に残す。

内容

場：サンキュー隼人店(外)

いつ：黒毛島豚が店にある時
(日曜日)年2回

- ① サンキューのちらしに載せてもらう
ポスターを作成し、市内にはる。
- ② 開催

HPを作成

- ・レシピ
- ・ロコミ
- ・生産者の声
- ・シェア

コンセプト経緯

霧島の黒毛島豚をもっと広めたい。そんな思いから企画を考えた。現在、HPで「黒毛島豚」と検索しても出てくるのは他地域の豚について。まずは、地元の人々の認知度を上げ、それを周辺に波及させて行くことで外に発信していきたいと考えている。

提案内容

きき酒ならぬ“きき豚”を企画する。ターゲットは、子ども連れの主婦層だ。毎日の食事に黒毛島豚を使ってもらえると、ロコミで黒毛島豚が広まってくれるのではないかと考え、ターゲットに決めた。

きき豚をおこなうのは、実際に販売しているお店の前。今回は、サンキュー隼人店でイベントを実施したいと考えている。黒豚と黒毛島豚を用意して、きき豚をしてもらう。見事当たれば、割引券を配付する。さらに、黒毛島豚に興味があれば、すぐに見えるように店内でのブース販売も考える。実施するのは家族が多い日曜日。よりたくさんの人に知ってもらいたい。

しかし、コストも考慮せざるを得ない。年二回と開催する日にちを少なくして、きき豚も先着制にするなど工夫をする。

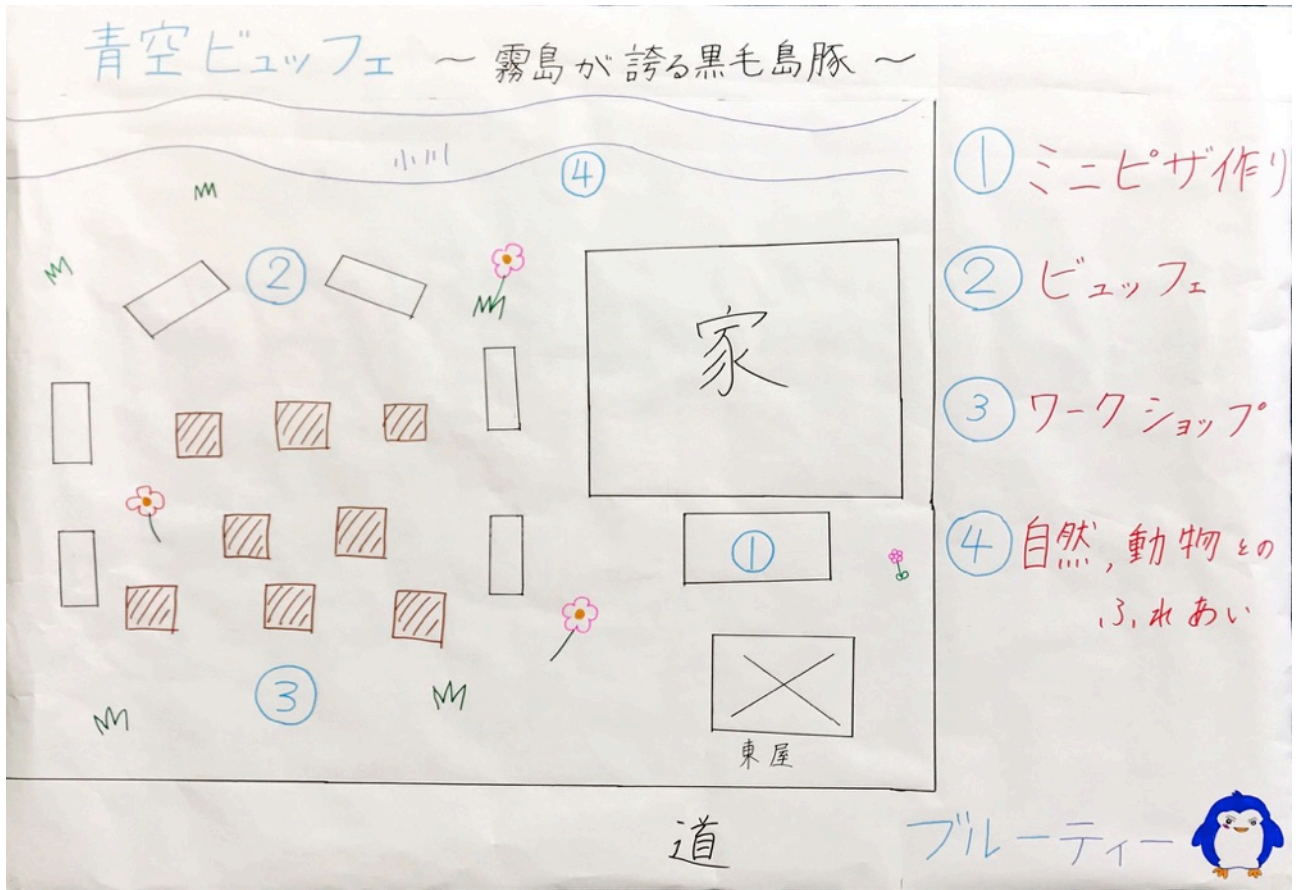
同時に、黒毛島豚についてのHPも作成し、おいしい食べ方のレシピやロコミなどのレビューも載せたいと考えている。



感想

○提案した内容を実現させたい!霧島市や伊佐市、鹿児島という自分の好きな場所で自分から何かを始めていきたいと思う。とりあえず、何か動き出すことが大事だと気付く機会になった。

メンバー：伊集院高校1年女子
国分高校2年男子
出水高校3年女子
第一工業大学3年男子



コンセプト経緯

黒毛島豚だけでなく、霧島の魅力をぎゅっと集めて、みんなでわいわい楽しめる場をつくりたい。さらに、地元の方々にも協力してもらい、地域一体型のイベントへ発展させていきたいと考えた。

提案内容

対象は家族連れや旅が好きな女子、地元の方々などの幅広い世代だ。年に2～3回、関係者の方の自宅の庭で開催したい。参加者の人数は限定40人などとして特別感を出したい。

このイベントでは、黒毛島豚を使用した料理を集め、ビュッフェ形式で参加者の方に振る舞う。また、ただ黒毛島豚を食べるのではなく、参加者が体験できるしくみも考えた。

たとえば、生産者の方に、黒毛島豚にまつわるお話をしてもらったり、参加者全員で黒毛島豚を使ったミニピザづくりをしたりする。体験を通じて、参加者の方が黒毛島豚に愛着をもってもらうことがねらいだ。事前に、地元のお店に協力を仰ぎ、黒毛島豚を使ったメニューを考え、提供していただけるようお願いにもまわりたい。また、冷しゃぶ流しというユニークな企画も魅力の一つだ。

さらに、地元のお店に協力をもらいワークショップなども実施し、食だけでなく霧島全体の魅力をみんなが実感できる場にしたいと考えている。



感想

○今回学んだことを、学校で行ってる課題研究などに役立てていきたい。その時は、相手に「全てつたえきった!」と思えるように、プレゼンの準備や連取をしたい。

メンバー：国分中央高校1年女子
国分高校2年女子2名
伊集院高校3年女子
鹿児島大学3年女子

豚革命

<提案> 抹茶でしゃぶる

<現状>

品質が良い。稀少。
未開発。認知度が低い。


<コンセプト>

霧島 × **限定** × 黒毛島豚

<対象者>

外国人観光客

メリットは... 黒毛島豚という新しいブランドを確立し、日本に逆輸入することが出来る!



感重カを
与えるために...
言語のカベ
雰囲気
ヒートグラム

BMD

コンセプト経緯

品質が良く、希少性が高い黒毛島豚であるが、その認知度はまだまだ低い。これらを逆手にとり、“限定”を掛け合わせ、黒毛島豚の特別感を際立たせたい。さらに、外国人にターゲットを絞ることで、先に世界で黒毛島豚の知名度を上げ、それを日本に逆輸入したいと考えている。

提案内容

黒毛島豚の料理メニューはまだ未開発の部分が多い。そこで「抹茶でしゃぶる」というメニューを提案したい。通常の黒豚と比べて脂身が甘く、味が濃く、風味が強いという黒毛島豚本来の味を生かしたメニューになっている。

対象は日本に来た外国人観光客だ。理由は3つ。「台湾・香港からの直通便がある鹿児島空港から霧島が近く、アクセスが良い」「特別な思い出を求める観光客に希少性の高い黒毛島豚がマッチする」「外国人の方の霧島に対する先入観がなく、新しい魅力を発信しやすい」が主な理由だ。外国人観光客の方が多き時期の期間限定メニューとして特別感を演出する。

在日の留学生にも協力を仰ぎ、観光客の方の言語の壁も低くしたい。間違っても魅力が伝わらないように工夫をしていきたい。



感想

○「消極的」から、「かなり積極的」になれた気がする。しかし、プレゼンの質問に答えられなかったことは、かなり後悔している。今回の経験をもとに、「自分らしさ」を大切にしながら、私にしかできないことを模索していきたい。

メンバー：国分高校2年男子、女子2名
出水高校3年女子
鹿児島大学4年男子